



森に歴史あり、人に文化あり。

岡山県森林インストラクター会 創立20周年記念誌

ごあいさつ

創立20周年を迎えて

2019年度、岡山県森林インストラクター会は創立20周年の記念すべき年を迎えることが出来ました。これも偏に会員の皆様から戴いたご理解と御尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。また私達がこうして無事20周年を迎えることが出来ましたのも、関係諸機関や諸団体の皆様からの暖かいご指導とご支援・ご協力の賜物と感謝いたしております。

私達の会は(一社)全国森林レクリエーション協会が実施する「森林インストラクター」の有資格者のみで構成されている会で、現在会員数は県下で50名程度、決して大きな団体ではありません。

ところで、この20年間で私達を取り巻く環境は著しく変化しており、世界的には「地球温暖化問題」と言う表現を越えて「地球危機」とも呼ばれるようになっていきます。最近多発する自然災害の激しさは、人類の歴史の中で進歩・発展してきた科学のみの知恵では処理しきれない「想定外」と呼ばれる様相を呈してきています。

そんな中で、私達はこの20年間、会創立に際して目的として定めた「森林レクリエーションの普及、自然環境の保全などを通じて、森の解説者として、広く県民に森林の成りたちや役割等を伝え、関心を高め、保全に寄与する」を進化・発展させながら、こうした状況改善に少しでも寄与できると微力を承知の上で考えながら活動をしてまいりました。

産業革命以来、経済優先で豊かな生活を求め

て活動してきた結果、数億年と言う長い地球の営みの中で蓄積された化石燃料を湯水のごとく使用し、わずか200年足らずの間に地球危機とも言える状態を招いてしまったと言っても過言ではないでしょう。

これから未来に生きる人達の糧を食いつぶしてしまったかもしれないという自責の念と、その罪滅ぼしという自己満足のような思いに駆られながら、その活動は自然崩壊の速度に比べて遅々としており、時に虚しさを感じながらのものでもありました。

しかしながら幸いなことに、私達の周りには、この20年間で多くの「自然を親しむ会」や「環境を守る会」等が活動を開始し継続しています。また個人としても自然や環境に関心を持たれる人々が増えてきています。たとえ私達の力が小さくても、これらの会や個人の方々と交流や親交を深め、共に手を携えながら森や林をフィールドとして楽しい活動が続けて行けるならば、未来へ継がる大きな力となるものと信じております。

今後共にご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



岡山県森林インストラクター会
会長 宮畑修治

祝辞

岡山県森林インストラクター会 創立20周年を迎えられて

公益社団法人岡山県緑化推進協会
会長 小野 泰弘

岡山県森林インストラクター会会員皆様には、創立20周年を迎えられ、誠におめでとうございます。改めまして、これまでのご活動とご苦勞に対しまして敬意を表します。

森林インストラクターは、私が申すまでもなく、会員一人一人が森林に対する情熱と専門的な知識や技術を持ち、その専門の資格を取得されて活動されている方々で、森の案内人として活動されておられます。

その活動が、個人にとどまらず、県内の森林インストラクターの知識と技術が集まり、岡山県全体の組織として、さらに広く、意欲的に活動されており、毎年、一般の方を対象に自然観察会を企画され、多くの参加者の下で開催されておりますことは、誠に心強く思っております。

私ども公益社団法人岡山県緑化推進協会は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、岡山県から指定された県内唯一の団体であり、県民の方々や企業・団体の皆様からの温かい「緑の募金」をいただき、森林の整備と緑化の推進を図るとともに、これらに係る県民の活動を支援しております。

子供たちへの普及啓発活動では、岡山県との共催により、県下各地で組織・活動している「みどりの少年隊」の研修と親睦・交流を図る目的で、

少年隊交流集会やみどりの大会を毎年、開催しております。

そのプログラムの一環を岡山県森林インストラクター会にお願いしており、昨年の樹木ビンゴでも「木の色々なことが分かって良かった。楽しかった。」という感想をいただいております。

これらの行事開催も岡山県森林インストラクター会のご援助がなければ、実施できないものであり、当協会におきましても大切なパートナーです。

さらに、書籍「新岡山の巨樹老樹名木」の発刊に向けて編集を進めておりますが、県内各地の調査につきましても、会員皆様方の並々ならぬご努力とご協力に感謝申し上げます。

最後になりますが、これからも会員皆様方のご健勝とさらなる森林・林業への知識・技術のご研鑽、そして、岡山県森林インストラクター会の益々のご発展、ご活躍を祈念いたしまして、甚だ簡単ですが、お祝いの言葉とさせていただきます。誠におめでとうございます。

岡山県森林インストラクター会 創立20周年記念誌によせて

おかやま森づくりサポートセンター
運営委員長 小見山 節夫

岡山県森林インストラクター会が創立20周年をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。県内森林・林業のエキスパートとしてますますのご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

さて、森林インストラクター資格試験制度が農林水産大臣認定で始まりましたのが平成に入ってまなしの頃だったと思います。当時、岡山県内では「美しい森づくり運動」が始まり、どんぐりポットの苗木づくり、植樹、間伐、枝打ち等の運動が盛んとなり県内に10個所の美しい森施設がオープンしました。この運動に多くの方々が参加されると同時に、各地域に森づくりボランティアグループが誕生、森づくり活動に必要な知識・技術を習得するための研修会、観察会等により約120名の森林ガイドが養成されました。

従来、県民参加の森づくり運動は、県指導により森林整備を中心としたボランティア活動を推進してきましたが、県民参加の森づくり活動を発展させるには、これまでの成果を活かして、森林ボランティアグループや指導者による自主的な「県民が育て楽しむ森づくり」が期待されるようになりました。そこで平成24年に積極的な活動をして頂いていた森林ボランティアグループが中心になって、新たに「おかやま森づくりサポートセン

ター」を設立。森林の恵みや自然とのふれあいを楽しみながら、県民参加の森づくり運動を推進しております。

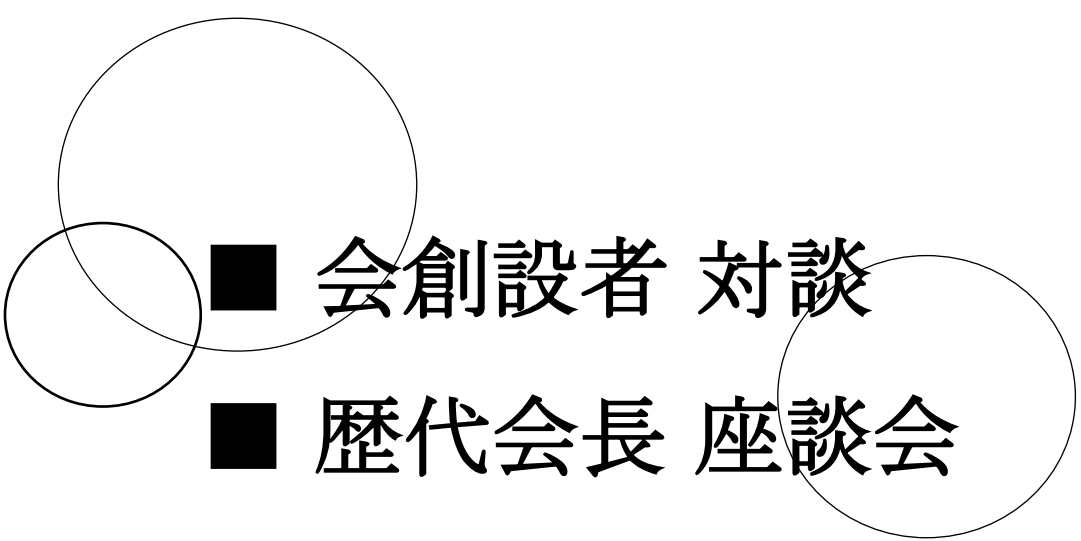
又、森林インストラクター会会員の方々には「森づくりサポーター」に多数の方の登録を頂き、森林・林業に関する知識・技術を分かりやすくご教授、ご指導頂いておるところでございます。

今後とも「おかやま森づくりサポートセンター」の活動にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、岡山県森林インストラクター会の一層のご発展、ご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

目次

ごあいさつ 岡山県森林インストラクター会会長	1
祝辞 公益社団法人岡山県緑化推進協会会長	2
祝辞 おかやま森づくりサポートセンター運営委員長	3
会創設者対談	6
歴代会長座談会	8
会員からのメッセージ	14
年表、行事、写真コラージュ	16
主催自然観察会実績	18
岡山県の巨樹老樹銘木調査	20
簡易年表・歴代役員	22
岡山県の森林インストラクター資格試験合格者の推移	22
都道府県別森林インストラクター登録者数	22
岡山県森林インストラクター会会員所在プロット図	23
岡山県森林インストラクター会の概要	24



■ 会創設者 対談

■ 歴代会長 座談会

有資格者はみんな会員ということで とにかくスタートした。

森林インストラクター制度が平成3年に創設され、1999（平成11）年5月に岡山県森林インストラクター会が創立された。会の立上げに尽力されたお二人に当時の様子をお話いただいた。

（初代会長）**長畑 州三**×**中島 嘉彦**（初代事務局長）

会の立ち上げに向けて集まったのは3人。

長畑 会をつくろうかと考え始めた時の有資格者はまだまだ少なかった。それでも、一緒に力を合わせて研修会のようなことをしようかというのが動機かな。チエンソーで間伐をしてみようとか。

中島 樹木の観察などもないけど、林業の世界に目を向けてみようというところ。

林業の現場作業を体験しておくのは今も必要な気がする。創立に向けて最初に集まったのは3人。長畑さんと地職さんと私。

長畑 3人とは結構長い付き合い合い。ちょうど、会をつくる頃、岡山県が「美しい森づくり運動」を進めており、平成13年頃までに10カ所を整備したと思う。そのオープンに関係する行事、自然観察会などは森林インストラクターとしてほとんどお手伝いしていたんじゃないかな。

中島 「美しい森」関係では長畑さん、地職さんはほとんど絡んでいた。皆勤賞ですね。

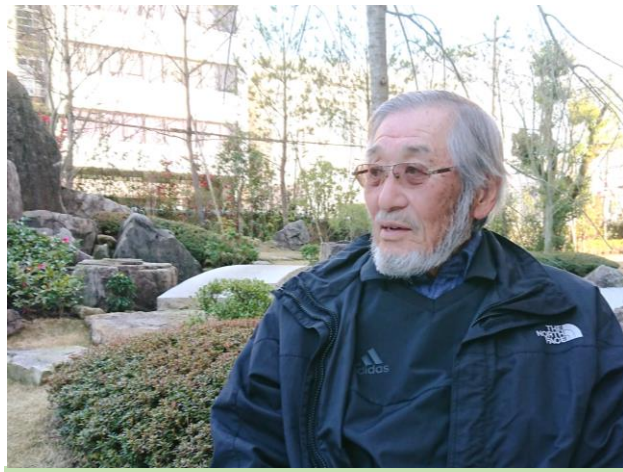
森林インストラクターという資格もまだ珍しく、県も丁度よかったのでは。それと個人に対してはなかなか業務を発注していくので組織をつくってほしいというのがあったように思う。民活、アウトソーシングの動きもあったし森林インストラクター会の存在は必要だったのではないかな。

先ずまとめること。その後から動きは出てくる。

長畑 まだまだ少なかったけど、県下で資格を持っている人はみんな会員という考え方でやった。申込んだら云々といったようなことはなし。（笑）

中島 資格を持っている人にはとりあえず連絡だけはしておいた。会費をとるわけでもなかった。そうした中から動きはでてくるだろうと。とにかくまとめたという感じ。創立時の会長が長畑さん、副会長が地職さん、私が事務局長ということでとりあえず活動のスタートを切ったという感じかな。





ながはた・しゅうぞう

勝田郡奈義町

1951(昭和26)年生

森林インストラクター資格習得年:平成4年

職業 山林用樹苗生産

岡山県の人工林に植栽されている樹木の半数近くを生産してきた。現在は少花粉スギ、ヒノキの苗をマルチキャピテイコンテナで育成する事に熱中している。

趣味 苗木の育成、樹木種子の採取

的に「岡山県の公務員では一人もいない、受けないと修了書やらんぞ」と。

(笑)

長 畑 私は平成4年に受験した。当時の合格率はすごく低かったと思う。

中 島 そう。長畑さんは一発合格。

長 畑 平成3年の試験は推薦みたいなところがあつたように思う。実質の試験といえるのは平成4年からでは。平成3年は全国で30数人が合格していると思う。それは錚々たるメンバーだった。

「なぜ森林インストラクターになろうと?」
「山の側の人間として参加しておかなければ」と思った。

長 畑 平成3年に森林インストラクターという制度ができるのを知った。私は山の人間なので、街の方からのことばかりが発信されだしたら困るなと思ひ、山の側からも意見を言えるよう参加しとかなければと考え受験した。

中 島 仕事で行った研修先の先生が森林インストラクター試験の関係をされておられ、勧められて。実は半強制

中 島 それなりの方々には資格者となつてもらい拍をつけておかないというところもあつたのかな。

森林インストラクター試験を受けて、雑多だったものが引き出しに整理できた。

長 畑 森林インストラクター試験を受けて良かったと思うのは知識や技

術など自分の中で雑多だったものが、きちつと引き出しに整理できたように感じる。これは良かった。

中 島 当時は民間ツアーで有料の自然観察会のようなこともされてましたね。

長 畑 京阪神からのお客さんが多く、那岐山の自然観察ツアーをやっていた。森林組合の若い人を育てようと思ひそういう場づくりをしたんだけど、なかなか思うようには。グリーンツーリズムのはしり。森林インストラクターも珍しかった。だから成立したのかな。

「これからの会について一言」

中 島 県などの専門技術職や林

業関係者の人が資格をとっていった中でだんだんと違う畑の人たちが入ってきた。その辺から会の活動も変わってきたのかなと思いますね。

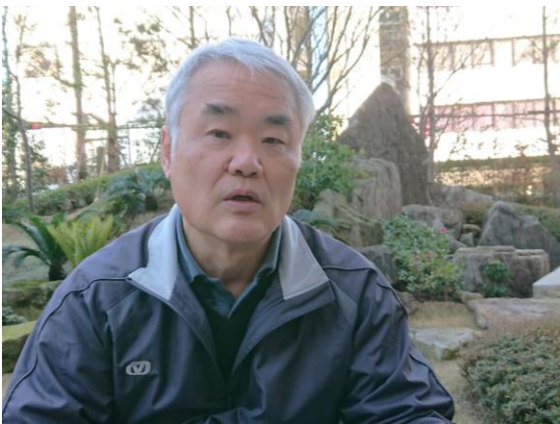
長 畑 とにかくスタートして、あれから20年とはよく続いたものだ。会として実際に動き始めたのは小見山さんが会長の時代からではないかな。

中 島 小見山さんに会長を引き継いだのが長畑さんの一番の仕事だった。(笑)

私は、若い人が活躍しやすいように協力できたらと思う。この20周年を機会に会の活動にぜひ一度参加してみたいですね。みんなで盛り上げていければと思いますね。

長 畑 若い方も多いし、公の職員や、林業の人、色々な経験の人が会員になっている。多様性のある組織になっていっている。ますます必要は高まるんじゃないかな。安心してお任せしますよ。

中 島 いやいや、まだまだお願いします



なかしま・よしひこ

津山市

1955(昭和30)年生

森林インストラクター資格取得年:平成5年

岩手大学林学科卒、平成26年まで岡山県職員

(うち20数年は林業試験場で研究員)

得意分野 森林生態、林業(伐出、造林等)

資格 林業専門技術員(林業機械)

森と人との関わりを大切に、次の世代へつないでいきたい。



参加者

- 小見山 節夫** (第2代会長 平成15年度～平成20年度)
可兒 義朗 (第3代会長 平成21年度～平成22年度)
大橋 日出男 (第4代会長 平成23年度～平成26年度)
宮畑 修治 (第5代会長 平成27年度～令和1年度)
中島 嘉彦 (創設者・初代事務局長、現副会長)

「なぜ森林インストラクター会をつくらうと？」

中島 初代会長の長畑さんとも話したんですが、会を創立しようとした頃、岡山県の「美しい森づくり運動」が盛んになって、それぞれ森林インストラクターとして頼まれることが多くなったんです。その時に行政サイドから「個人個人を相手にするのはかなわん」というような話が出たのを覚えています。「どこか組織に対してお願いしたいし、その方が都合がいい」という話があつて。それで集まったのが、組織化のスタートかなと。

我々インストラクターも個人で動いていたし、特に初代会長長畑さんはインストラクターとして活動され始めた「パイオニア」で、観光関係の企業とも活動されていた。その中でやっぱり個人では限界があるし、視野も狭いし、「みんなでとりあえず寄つて力をあわせようや」というのがスタートだったように思います。

大橋 当時の行政からの要請も今と似たようなところなんですか。
中島 今より多かったです。遥か

に多かったです。「森づくり運動」というのがあったので。私も平成5年に資格をとつたらすぐ「休暇を取つて、森林インストラクターとして来い」と言われて。(笑)

「初代会長長畑さんの次が小見山さん。」

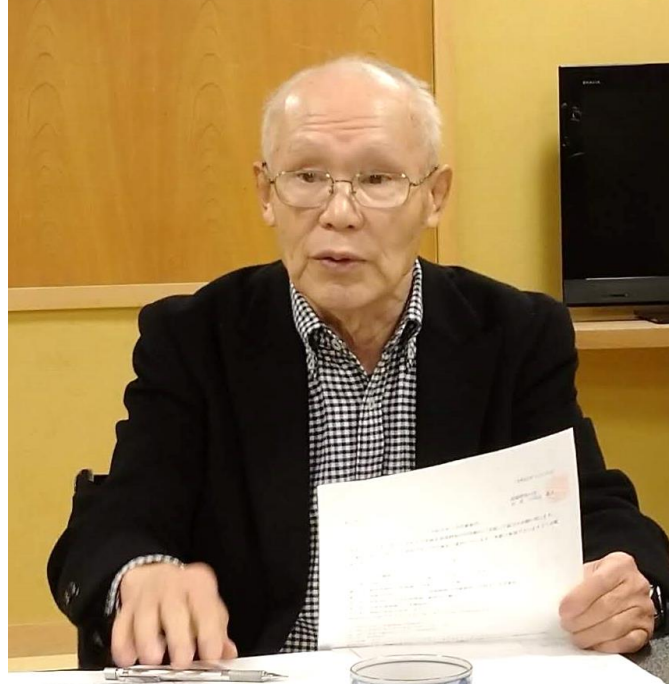
小見山 私ね、先輩方が組織のよいうなものを作つておられるのを知つてまして。それでもみんなが寄つてインストラクターの組織として活動するというのは少なかつた。

中島 それを確立したのが、小見山さん。いわゆる組織の土台をつくつて今のような形に持つてこられた。実質の初代会長だと長畑さんと言つてたんです。

小見山 私の代に大佐町の梅田さん(新見市に合併前の大佐町長)のところで3回、森林インストラクター養成講座を開いた。

谷口さんが大変協力してくれて、その頃の資料が出てきましたね。

一 同 おお！手書き。懐かしい！紐で綴じてる。(※1)



こみやま・せつお

高梁市浜町
1937(昭和12)年生
森林インストラクター資格取得年:平成10年
柔道整復師(小見山接骨院)、
診療放射線技師(大杉病院)
岡山県希少野生動植物専門委員
岡山県鳥類保護管理員
(公財)日本鳥類保護連盟岡山県支部長
高梁野鳥の会会長
おかやま森づくりサポートセンター運営委員長

小見山 それ以降にもインストラクターを目指そうという興味を持たれる人が多くて、「森づくりボランティア指導者育成研修会」というようなものを開いてますね。平成19年と20年。それぞれ20人から30人くらい参加されています。

中島 まあ、森づくりのインストラクターも含めてちよつとレベルアップを社会的にも認められ、最初はインストラクターっていうのは割と…。

小見山 なんじゃろうかなあと。

「お前ら何をする者なら」言われて。私はこの道、自然環境に関しては20

年ほどやりましたからね。その間に森林インストラクターになったら、少しはアルバイトできるんだらうと思ったんですよ。でも全然ない。(笑)

可兒 それにしても20人くらいの指導者養成研修をされたのは、素晴らしいことじゃな。

小見山 県の補助金をもらってやりました。大佐町のインストラクター養成講座は梅田町長が力を入れてくれて可兒 担当者がおられてね。熱心だったしな。

小見山 岡山県の森林インストラクターの数が多いの、大佐町の養成講座



かに・よしろう

岡山市北区
1937(昭和12)年生
森林インストラクター資格取得年:平成13年
岡山大学で林学を専攻、林業技術職員として岡山県庁に入り(昭36)、主に林業技術普及に従事。
退職後(公社)岡山県緑化推進協会に勤務。
樹木医(平11)資格取得。
自然観察や自然素材によるクラフトを主に活動。
現在は岡山県自然保護センター、岡山市里山センター、倉敷市自然史博物館でクラフトの活動をしている。

座があったからですよ。

可兒 そりゃあそうですね。

小見山 今、中四国で一番でしょ? 数としては。(※2)

可兒 あの頃、ずば抜けて多かった。

小見山 そうでしょう。

—3代目会長は可兒さんですね。

可兒 まあ、僕は小見山さんの後をやるときに「中継ぎで、ちよつとだけ」ということで引き受けたのを覚えてんです。

小見山さんの後を継いで、県の委託事

業の養成講座をね。勝山でやったのが印象に残つとるかな。あの頃からだんだん会としてできてきたんじゃないかなあと。

中島 可兒さんはその後、樹木医の資格もとられたんですね。

可兒 いやあ、樹木医のほうが早かった。樹木医とって、同じ森林だと思って森林インストラクターも受けた。そしたらなあ、森林の科目で落ちてなあ。

一同(笑)

可兒 インタープリターという意味が分からなかった。あれが分かっていたら通つてたかも。後から聞くと「媒介

者」って。日本語で書いてくれ。(笑)

小見山 可兒さんと同じ頃一緒にやっていたんですけど、研修会を開いたら20人以上がずっと来られてねえ。そりゃあ皆勢いに燃えとったですよ。その頃はそう感じました。

可兒 夫婦でこられたりね。

小見山 その時は一所懸命だったから何とか頑張ったつもりではおりますけど。どういう風に伝わったかということとは、後で皆さんから評価を受けるんでしょね。

私がやってたときに一番苦労したのはねえ、資格をとっても仕事がないことと、アルバイトにもならないということ。それを増やすにはどうすればいいかと思うても無料の仕事ばかりでした。たまに団体から観察会をしてくれという依頼があったことはありましたがね。みなさん、どうでしょう。か。
大橋 もらったり、もらわなかったり。
小見山 でしょう！これはもういるんだということを含んで言ったら確立されてくるんじゃないかなあ。そんな気がしますけどね。

中島 小見山さんが会長時代に言われた言葉で印象的なのは「金もらうとちゃんとするよ」と。「自覚がで

きるし」と。そのことは後から思い知ることになりました。無料で使われるとええ加減になってしまいうんですわ、ある意味。少額でも封筒に入つると、襟を正して事前に本を読んで下見をして…、と気持ちが変わりますよ。ね。
可兒 それは、あるなあ。逆に責任ができるという面もあるけど。

—大橋さんの代の頃は どうでしょう？

大橋 ちょうど知り合いにコスタリカによく旅行するのがいて、そこにモンテベルデという自然保護区がある。その人に言わせると、そこが世界で初めて森林ガイド、山岳ガイドというものを確立したと。世界で初めてそういうガイドが金銭的に成り立ったと聞いたんですよ。

どんなことをしてるんかと聞くと、結局ガイドを養成する機関がきっちりしているんです。そこにきて鍛えて、いろんな法律面のこともすべてを合わせてガイドとしてやれるだけのものにして、お金をきちっともらうということをしてるんですよ。

中島 「頂点がプロでない」と裾の尾ができない」と、昔言われた記憶があ

ります。

大橋 我々の知見をいい意味での有料化にどうやって繋げていくかという視点がないと、なかなか会として将来性は見えんなど、会長を引き受けたころには思ってたんですよ。

それでどうするかというところですけど、結局ひとつは、森林インストラクターを更に多くの方に認知してもらうということがあるだろうな。それから自分達の研修もしないといけない。中には資格をとられてもあまりガイドをやられたことがないという人

も多い。役員との話し合いの中で、そういう意味で会主催の自然観察会みたいなものを柱として立てようかという議論が出てきたんだろうと思う。

—大橋さんの代から会主催の自然観察会が始まりましたね。

大橋 まあ、それまでの積み重ねがあった上でそういう自然観察会の話が出てきた。何らかの形で自分達の力量も高めないといけない、若い人も育てないといけない、多くの人にも知って



おおはし・ひでお

新見市哲多町

1949(昭和24)年生

森林インストラクター資格取得年:平成17年

県南から移住し20年。トマトなど野菜を育て、自家用過剰分を市場で販売している。

この地は、石灰岩でできた阿哲台に位置しているため、希少な動植物が多く、この観察が趣味となっている。

そうした中、人口減少で、農業も生き物も危機となりつつあり、

備中ウルシグループの支援など地域の活性化に取り組んでいる。

もらわないといけないというあたりから、出てきたんだろうと思っています。

どつちかというと会員間の交流が中心で、インストラクター会が直接そんなものを開く必要はないんじゃないかという意見も確かあったと思う。でも話を詰めていき結局やろうということになった。紆余曲折ありながらも、宮畑さんにも先導していただいた記憶をもつています。そして、今回まで続いているという感じですね。

―プロ化の視点が力をつける

大橋 それでも、それで食っていけるという意味でのプロ化ということにどう繋げていくかというのは、今後の大きな課題のひとつで、今日の話の中では大きな柱になるのかなと思っていました。

可兒 今思い出したけど。森林インストラクター会をNPO法人にという話もあり、聞きにいったけど、NPO法人は一般の人を排除することはできない。資格者に限るということはできないと言われて、そりゃ難しいなとなった。

―法人化すれば、対外的なものは違ってくる

大橋 そうでしょうね。食っていけるレベルは相当先ですが、NPOという法人化するという方向性はあるとは思う。

可兒 今後はそういうのも考えていかないといけないけど、ネックはどういう風に会員をくくるかというのがね。

―現会長の宮畑さんお願いします。

宮畑 ある年の総会に行ったらね、

大橋さんが会長で、黒瀬さんと僕が副会長。「それでええですな。」って言ったらみんなが拍手。異議はなし言うて知らん間に僕が副会長。

一同（笑）

宮畑 それが始まりですわ。何年か経ったら大橋さんが「宮畑さん、もう辞めろ」と言つて。（笑）それで会長になったんですけどね。

たまたま僕の時はものすごく恵まれてましてね。岡山県緑化推進協会から県の巨樹・老樹をまとめるという話があつて、予算も付くということだったのでやらせていただいた。

1300本以上の樹を調査できたというのにはなかなかできないことなんでね、これはよかつた。3年間やらせてもらいました。会の活動としても、会員が結集するという意味でも、大きな役割を果たしたなと思つています。これが一番大きな出来事じゃなかつたかなあと思つています。

講師案件は必ず費用をいただけてますんでね。いまのところ会としては、いんじゃないかなと思つています。

―会のこれからや目指すものは

小見山 次世代の子供たちの環境教育みたいなカリキュラムをつくるということがこれからは必要になってくるし、次の代の人を育てることが、うちの会が発展するひとつの機会になるのではないかなと思います。大変なことですけど。



みやはた・しゅうじ

玉野市
1943(昭和18)年生
森林インストラクター資格取得年:平成18年
50年間大型ディーゼルエンジンを造り、世界の海に大型船を走らせて大量物流輸送を支えてきた。
又、このエンジンで発電をして島国や未開拓地の人々に電気の光を届けてきた。
機会屋馬鹿が定年を目前にして自然に遊ぶ人生の第二楽章を夢見て森林インストラクターとなり、そして今、人生の最終章に挑戦しようとしている。

可兒 やっぱり森林インストラクターという専門的な技術になるんですけど、僕は次世代の子供たちのパイプを、そして自然とのパイプを強くするというのが一番じゃないかなと思う。

悲しいかな、「21世紀の森(岡山県が整備した施設)閉鎖」もなくなるし、「美しい森」もなくなるし。子供は自然の中で遊びまわるのが好きなんです。だから子供に対する授業というのをね。「儲け」を考えちゃいけない。

小見山 それはいいん。

可兒 事前投資ですからね。初めからお金を儲けるためにしたものではないのに、金があるからといってなくなるのは間違いでな。次代を背負う人たちに對する自然教育というのをしないとだめだと思ふなあ。

岡山市の「リーダーズクラブ」というのがあって、日応寺を中心として、リーダーの養成講座をやっている。あいつた遊びをさせるのも大切なかなあと思ふ。どんぐりプールじゃないって、ワーワーやりよる。なんと楽しそうな。

一同 (笑)

大橋 今、一番関心を持っているのはね、自分が住んでいるところがもう

完全に山間地で、周りの農林業の人が私も含めて高齢化で。どんどんいろんなもの手入れができない状態に。休耕田も増える。もちろん山林もそうです。そういう状態で我々だけやるのは限界がある。前からですが、今もつとつと加速をしてくれている。生物の多様性なんてよく言われるけど。ほとんど守れないですよ。ぜひ一緒に、そういうことに関心を持つ人が増えて、出入りをしてくれる人が増えてくれたらなと思っています。

中山間地の課題に貢献できるか。

大橋 そういう意味では山の魅力というものを伝えるということが私たちの役目であり、森林インストラクター会の出番もそこにあるのかなという風に感じています。

そのためにはいろんなPRもしなきゃいけないだろうし、関心を持ってくれる人が触れることができる機会を提供できるようなシステムができればと。今、関係人口なんて言葉もある。まさにその関係人口を結ぶような取り組みというのがいるんだろうなと思います。

集落再生と一体化になっている。若い人でそういうことに関心を持っている人もいっぱいいますので、それを受け入れる体制をね。今、真剣に考えないと。

中島 私は歴代会長ではないんですけど、高齢化でひとつ気になるのが、雇用形態が、65歳まで働いて70歳まで再雇用になっていくと森林インストラクターの資格をもついても活動するほんとのおいしい時期が高齢化してしまう。となると、若い人が仕事をもちながら活躍できる何か方法があるのかなというのがひとつ。

あとは子供たちを知らないフィールドに連れていく不安を解消するためにも、インストラクター会の固定フィールドがほしいなあ。県北県南にひとつずつつくらう。

そこなら、インストラクターの初心者の方も先輩に習いながら、連れて回れる。所有までしなくていいんで。自由に使えて、手入れもみんなでするような。最低限、トイレだけはあるようなものができればなという。

小見山 それこそ「美しい森」。あれを活用すればいい。自分たちのフィールドを持つというのは大切なことだと



なかしま・よしひこ

プロフィールは7頁を参照

思いますよ。

宮畑 僕は特殊な考え方もありませんが、インストラクターというのはそれぞれの皆さんが資格をとって、その資格でもって活動をし、その活動の結集をそれぞれお互いに交流しながら、会としてよくしていこう、活動を活発にしていこうというのが、本来の目的じゃないかなあ。と思っています。

「自分でやる」ということを心掛けるべきであって。「会が何かしてくれてというもんではないんじゃない」というのが根本的に僕の中にあつて。

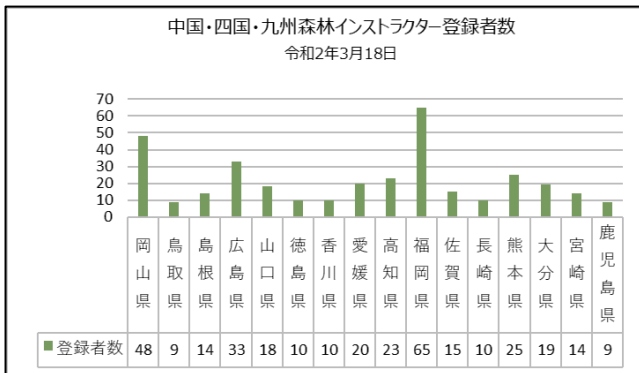
可兒 おつしやるとおりでしょう。資格というのは一種のスタートラインに立っただけのことですからなあ。それから先、自分が自己研鑽をどうするかというのが大事ですよ。

宮畑 僕は定年後、森林インストラクター資格をとっておいでよかったです。本当にずっと遊ばせてもらったから。自分が遊ぶのに一番よかつたんじゃないかなと思います。

可兒 そうですよ。自分が楽しくなけりやできんもん。

宮畑 50才になったときに読んだ本に「定年になったとき何をするか100項目書け」、その100項目があれば定年になっても楽しく過ごせると。山に行つたので「岳人」という雑誌を読んでおり、いつも森林インストラクターの宣伝が載つていた。定年になったら、変わったことしよう。これをやってみよう。それで資格をとった自分も楽しみながら、インストラクター会もみなさんに認知され継続していくようみんなまで育てていきたいですね。

※2 岡山県の森林インストラクター登録者数は中四国では最多



出所：(一社) 全国森林レクリエーション協会
令和2年3月18日

※1 手書きの養成講座資料



森林インストラクターとは

平成3年官報告示の農林水産大臣認定資格として創設された資格制度。国の資格制度の全般的な見直しを経て、現在は、いわゆる環境教育等促進法の「人材認定事業」として、一般社団法人全国森林レクリエーション協会が毎年1回実施する試験に合格し登録すると付与される資格。



会員からのメッセージ

森林インストラクターとの出会い
に感謝！森に遊び森に学ぶ。
一生森と山の案内人！ヨコ
横林英記 津山市

次の40周年へGO！
次代の後継者が育ってほしいです。
梶原利廣 久米郡久米南町

日本でも虫の数が減っているよ
うですが森林に絡めて昆虫観察
会の開催を希望します。
斉藤純一 勝田郡勝央町

森はまさに奥が深い。これからも
自分のできる範囲で悠々と楽し
んでいきたい。
諏訪岳憲 赤磐市

空家が増え里山も放棄される。
遠い時代から守るものを捨てては
いませんか。
高垣泰一 久米郡久米南町

日本の森林の大切さを地域の
人々にもっと認識してもらえよ
うな活動を期待しています。
鴨田時典 倉敷市

人生100年。活躍はこれから。
森林インストラクターの活躍が
期待されている時代です。
小見山節夫 高梁市

この度はおめでとうございます。
会が益々盛り上がっていくことを
願っています。
二瀬洋平 高梁市

会員が活動しやすい環境を整
えていければと思っています。
新規会員も増えてほしいな。
高橋謙治 岡山市

子供たちと自然とのパイプを
太くしましょう。「遊ぶ子は育
つ」若い人をお願いします。
可兒義朗 岡山市

祝20周年！これからも、
元気で楽しく、森林と人と
をつないでいきましょう。
R・S 岡山市

自分も自然の中で一員。
すべてに感謝していきたいと
思っています。
松下道恵 浅口市金光町

滋賀から津山に転居して10年。
今年も妻、愛犬と共に田舎生活
を楽しみたい。
西川昭 津山市

20周年おめでとうございます。
西原 浅口郡里庄町

森のフクロウですよ。フクロウ
と一緒に森の中で遊び
ましょう。森は待っています。
森のフクロウ 赤磐市

皆さん、時には自分のためにお弁当を持って、さあ、近所の雑木林へ！

中島 嘉彦 津山市

里山や竹林の整備、キノコ観察、続けています。冬虫夏草や粘菌探しが大変楽しいです。

石川正明 岡山市

日の出から日没まで畑に居ます。興味のある方、訪ねてみてください。

長畑州三 奈義町

会で出会った仲間たちから多くを学び楽しかった。今後も若い人が育つ場であって。

石原隆志 久米郡美咲町

人生の第2楽章を自然と楽しく遊び、そして最終章も自然とたむれ暮せたら幸せです。

宮畑修治 玉野市

岡山の里山散策で出会える動植物を載せるブログ作成が目標です。

立石 岡山市

森林のすばらしさを多くの人々に！

齋藤秀哉 岡山市

ボケ防止と所有林の管理を兼ねて入会。皆様に指導して頂き7年が過ぎ感謝大。

安藤孝師 津山市

研修会等で大変お世話になっています。今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。

森サポスタッフ 岡山市

お世話いただく皆様感謝です。行事なかなか出席できませんが、よろしくお願ひします。

向井王則 真庭市

森と人との長くて深い関係。より多くの人に伝えられる会に発展を。

大橋日出男 新見市哲多町

なんちゃってインストラクターから、真のインストラクターになれるよう頑張ります。

奥村裕子 岡山市

大自然、里山もいいですが、我が国の文化日本庭園も素敵です。

古城富士夫 浅口市金光町

20周年おめでとうございます。会員の交流の場として頼りにしています。

おこりんぼ 総社市

「センスオブワンダー」を大切に、先輩方の思いを引継ぎながらこれからも楽しく活動していきたいです。

わたなべあ 総社市

2011

- 研修会 2011年5月
新庄村金ヶ谷山登山道付近 自然観察実習
- 第1回自然観察会開催 2011年10月
新庄村金ヶ谷山登山道付近～秋編～



写真は年代、
行事とは関係
していません

2010

- 総会 研修会 2010年5月
倉敷市王子ヶ岳国民宿舎
海岸マツ林の復元
- 研修会 2010年5月
玉野市深山公園 植生観察



2009

- 研修会 2009年6月
簡易炭化炉による炭焼き実習
勝央町岡山県林業試験場



2008

- 研修会 2008年2月
森の育て親森林保全作業
総社市新本地区有林
- 森づくりボランティア指導者育成研修開催



2007

- 研修会 2007年2月
総社市新本地区有林現地視察
同地区里山施業にかかる検討会
同地区里山施業実施
- 森づくりボランティア指導者育成研修開催

1999

1999 (平成11) 年5月22日
岡山県森林インストラクター会創立



とにかくスタートだ!

2000



2001

2002



2003

- 旧大佐町にて
第1回森林インストラクター
養成講座開催

2004

- 旧大佐町にて
第2回森林インストラクター
養成講座開催



2005

- 旧大佐町にて
第3回森林インストラクター
養成講座開催



2006

- 研修会 2006年4月
- アクティブレンジャー報告
- 風倒木被害の現状と対策
成羽町ラフォーレ吹屋
- 山野草観察会
新見市哲多町無明谷



岡山県みどりの少年隊交流集会

2020

2019



- 2019年5月22日で20周年（21年目に）
- 総会 研修会 2019年5月 高梁市神原荘 こども樹木博士の基礎研修
- 研修会 2019年3月 高梁市臥牛山周辺 自然観察実習
- 第3回野鳥観察（ブッポウソウ観察） 2019年7月 高梁自然公園周辺
- 「災復旧と森林」 2019年10月 岡山地方気象台、日本植生（株）道の駅くめなん、日本植生実験園場
- 第9回自然観察会開催 2019年10月 高梁市 臥牛山・備中松山城周辺
- 岡山森林組合依頼の「森づくりに必要な技術と知識」講師派遣



ブッポウソウの雛

2018

- 第2回野鳥観察会 2018年2月 玉野市深山公園
- 総会 2018年5月 総社市サンロード吉備路
- 研修会 2018年5月 総社市昭和地区 自然観察実習
- 第8回自然観察会開催 2018年10月 総社市昭和地区「吉備高原南端の里山を歩く」
- 暮らしき都市緑化フェアにクラフト製作の講師派遣
- 総社市・体操教室依頼による鬼ノ城ハイキング案内
- 倉敷市医師会依頼の観察会に講師派遣（小豆島）



森サボ研修会：森の健康診断ロープウインチを使った林地残材の搬出

2017

- 総会 研修会 2017年5月 和気美しい森コテージ 樹高測定技術研修
- 研修会 2017年5月 赤磐市熊山 自然観察実習
- 第1回野鳥観察会 高梁自然公園
- 「樹を見る観る診る」岡山県樹木医会と合同開催 半田山植物園、竜ノログリーンシャワーの森
- 第7回自然観察会開催 2017年10月 赤磐市・備前市 熊山
- 山陽カルチャーマウンティングクラブ依頼の観察会に講師派遣
- 倉敷市医師会依頼の観察会に講師派遣 岡山県立森林公園
- 新庄村森林セラピー協議会依頼の針葉樹についての講習会に講師派遣



2012

- 総会 研修会 2012年3月 吉備中央町国立吉備青少年自然の家 ネイチャークラフト研修
- 第2回自然観察会開催 2012年5月 新庄村金ケ谷山登山道付近～春編～



2013

- 総会 研修会 2013年5月 鏡野町国民宿舎いつき 岡山県立森林公園自然観察実習
- 第3回自然観察会開催 2013年9月 岡山県立森林公園



2014

- 総会 研修会 2014年5月 玉野市日比市民センター 玉野市王子ケ岳 自然観察実習
- 第4回自然観察会開催 2014年9月 玉野市・倉敷市 王子ケ岳
- 2014年11月 写真撮影技術研修 講師/写真家 森本二太郎 新庄村有機農業サポートセンター



2015

- 総会 研修会 2015年5月 西粟倉村国民宿舎あわくら荘 巨樹調査方法研修、ロケットストーブ 若杉天然林 自然観察実習
- 第5回自然観察会開催 2015年9月 西粟倉村若杉天然林
- 2015年11月 森林セラピー体験 講師/岡垣祐子 鳥取県智頭町芦津の森
- 山陽新聞エコキャンプ講師派遣
- 岡山県みどりの大会講師派遣
- 赤磐市観光課依頼の観察会に講師派遣



2016

- 総会 研修会 2016年5月 高梁市成羽町ラフォーレ吹屋 樹木標本による樹木鑑定
- 研修会 2016年5月 新見市荒戸山 自然観察実習
- 第6回自然観察会開催 2016年9月 新見市 荒戸山
- 2016年10月 木工クラフト研修 岡山市里山センター
- 岡山県みどりの少年隊交流集会講師派遣
- 龍ノログリーンシャワーの森を守る会依頼の観察会に講師派遣



岡山県森林インストラクター会主催 自然観察会実績

※岡山県及びNPO法人フォレストフォーピープル岡山は全ての回の後援

回	場所（フィールド）	実施日	後援	参加者
第1回	金ケ谷山登山道付近（新庄村）～秋編～	2011（平成23）年10月30日	新庄村	30名
第2回	金ケ谷山登山道付近（新庄村）～春編～	2012（平成24）年5月20日	新庄村	25名
第3回	岡山県立森林公園（鏡野町）	2013（平成25）年9月29日	鏡野町	25名
第4回	王子ヶ岳（玉野市・倉敷市）	2014（平成26）年9月24日	玉野市・倉敷市	38名
第5回	若杉天然林（西粟倉村）	2015（平成27）年9月27日	西粟倉村	30名
第6回	荒戸山（新見市）	2016（平成28）年10月2日	新見市	48名
第7回	熊山（赤磐市・備前市）	2017（平成29）年10月14日	赤磐市・備前市	40名
第8回	吉備高原南端（総社市昭和地区）	2018（平成30）年10月14日	総社市	54名
第9回	臥牛山・備中高松城（高梁市）	2019（令和元）年10月20日	高梁市	53名

第1回開催のトピックス

初めての開催、その思い。

～森と人との新たな絆を～

岡山県森林インストラクター会は初めての自然観察会を新庄村金ケ谷で行う。その趣旨は、失われつつある「森への畏敬」をベースとして先人の思いを受け継ぎ「知恵」を多くの人に継承し、さらに発展することにある。従って植物学的に森を解説することを考えていない。歴史や文化など人の営みを含めた総合的なものにしたいと考えている。

（第1回観察会しおり挨拶文より抜粋）

観察会の概要

- ①岡山県の森と風土
- ②ブナの原生林と天然スギはなぜ生き延びたのか
- ③ブナとヒノキが混生する不思議
- ④毛無山塊の樹木の背腹性
- ⑤樹木四方山ばなし
- ⑥新庄の民家と民具に使われた樹木
- ⑦万葉集の世界と樹木
- ⑧登山道の樹木
- ⑨生物多様性の地球



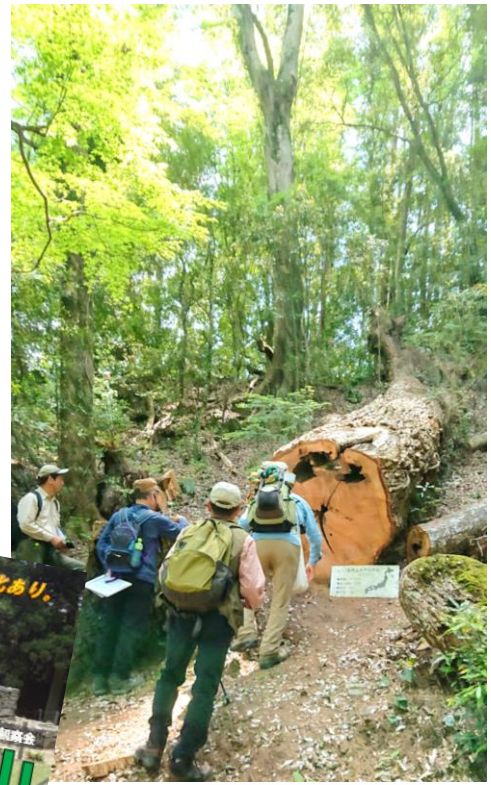
成果

- ファンが増えた。
- いい資料ができた。継続していけば会の財産となる。
- 当会の人々が参加し計画・実行する行動のきっかけとなった。
- 良い結果となった。会員其々の力を発揮すれば進化していく。

参加者の感想（第1回参加者アンケートから抜粋）

- 参加理由は？
 - ・花は教わっても、木の名前を覚えてもらえないから。
 - ・森林インストラクターの皆さんによる観察会だから。
 - ・自分の住んでいる所とは違った植物が見られそう。
- 今日の観察会で良かった点は？
 - ・沢山の名前といわれが勉強できた。
 - ・新庄村の歴史を含め色々な分野のことが聞けた。
 - ・植物の話と歴史の話があったこと。
- 良くなかった、改善したほうがよい点は？
 - ・時間配分
 - ・説明が真面目すぎかな。
 - ・講師は専門用語はあまり使わない方がいい。
- 今後についての希望など
 - ・同じ場所で季節を変えて。
 - ・今回のような企画をいろいろな地域で。

2011年は国際森林年、
国内テーマは「森を歩く」



森林に歴史あり、人に文化あり。

～緑の自然と人と文化の絆～

熊山

阿賀富士
山鹿森林インストラクター会 第7回自然観察会

地域の 500m峰

2017年10月14日(土)
10:00~15:00頃 (小雨決行)

荒戸山
2016年10月2日(日)
10:00~15:00頃 (小雨決行)

阿賀富士
山鹿森林インストラクター会 第6回自然観察会

新見市 哲多町

(参加費無料)
参加型観察会
1000円

主催 阿賀富士山鹿森林インストラクター会
協力 山鹿森林インストラクター会

TEL 086-806-2992
E-mail konakery77mar@greenmessage.net.jp



山鹿森林インストラクター会

森林に歴史あり

自然観察

自然観察会

自然観察会

自然観察会



岡山県の巨樹老樹名木調査（平成27～29年度）

■公益社団法人 岡山県緑化推進協会からの受託事業

調査対象樹木リストに基づき岡山県森林インストラクター会会員による県内全域に及ぶ現地フィールド調査を実施。

生存、枯死、伐採、不明などの状態を調査した。

・調査期間：2015（平成27）年7月～2017（平成29）年11月

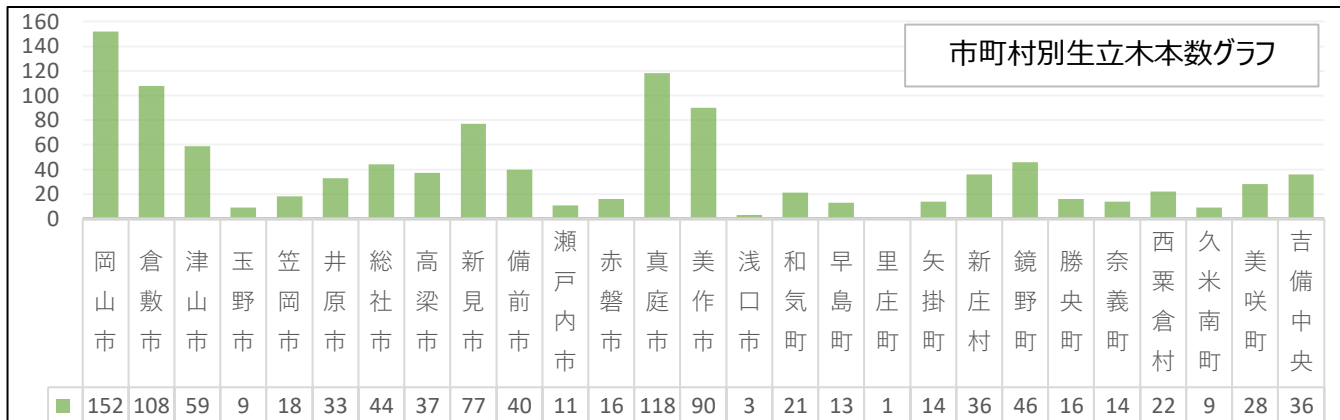
・調査総本数：1,340本（岡山県内）

うち生立木 1,071本（生立木のうち当初調査予定樹木 837本、新規に確認された樹木 234本）

消失、枯死、伐採等 269本

(1) 市町村別生立木本数

岡山市	152	高梁市	37	浅口市	3	勝央町	16
倉敷市	108	新見市	77	和気町	21	奈義町	14
津山市	59	備前市	40	早島町	13	西粟倉村	22
玉野市	9	瀬戸内市	11	里庄町	1	久米南町	9
笠岡市	18	赤磐市	16	矢掛町	14	美咲町	28
井原市	33	真庭市	118	新庄村	36	吉備中央町	36
総社市	44	美作市	90	鏡野町	46	計27市町村	1,071

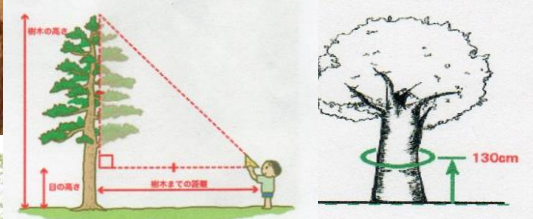


(2) 樹種別生立木本数

ソテツ	4	メタセコイヤ	3	ヤマナシ	2	イロハモミジ	3	シャクナゲ	2
イチヨウ	84	アカマツ	3	ヤマザクラ	9	トウカエデ	1	シャシャンボ	1
ナギ	4	クロマツ	19	エンジュ	1	トチノキ	4	カキノキ	8
ラカンマキ	4	ゴヨウマツ	4	サイカチ	2	ムクロジ	8	ヤマガキ	1
イヌマキ	5	ツガ	11	メラノキシロン	1	ナツメ	2	シナノガキ	1
カヤ	20	モミ	25	フジ	6	ケンボナシ	1	チシャノキ	5
キャラボク	2	ヒマラヤスギ	1	フジキ	1	ホルトノキ	1	ギンモクセイ	2
イチイ	1	アカメヤナギ	1	ヤマフジ	5	ボダイジュ	3	ヒイラギ	9
アスナロ	2	オオバヤナギ	1	ハゼノキ	1	サカキ	9	ヤマトアオダモ	1
イブキ	11	ヤマモモ	5	カイノキ	1	サザンカ	6	オリーブ	1
カイズカイブキ	1	イヌシデ	1	ナツツバキ	1	ツバキ	11	ハコネウツギ	2
ネズ	9	アカシデ	1	クロガネモチ	17	ヤブツバキ	13	ココノエギリ	1
ヒノキ	22	ヤブニツケイ	1	タラヨウ	7	モッコク	16	コヤスノキ	1
スイリュウヒバ	1	アテツマンサク	2	ナナメノキ	9	クスドイゲ	4	シンジュ	1
ビャクシン	1	イスノキ	3	マユミ	1	サルスベリ	13	センダン	8
コウヤマキ	7	ウメ	8	イタヤカエデ	1	ザクロ	1	ミズナラ	8
コウヨウザン	1	カイドウ	1	アカイタヤカエデ	1	ヤマボウシ	1	ビロウ	1
ラクウショウ	1	カリン	2	モミジ	11	ミズキ	1	124種	1,071
スギ	115	サクラ	27	ヤマモミジ	2	サツキツツジ	2		

調査票の表紙部分。左側は「調査票No. 7」で、右側は「調査票No. 8」である。両方とも「南山の巨樹名録名簿調査票」として、樹木に関する詳細な情報を記録するための用紙である。

調査票の項目には、樹木の種別、樹高、幹径、樹齢、所在地、所有者、写真撮影の有無などが含まれている。また、調査票には樹木の分布図や詳細な写真も添付されている。



調査表番号	市町村編制番号	樹種名	呼称・名称	所有者	目録番号
44		イチョウ	大宮神社のイチョウ	大宮神社	8
275		スギ	大宮のスギ	大宮神社	9
74		イチョウ	本山寺のイチョウ	本山寺	8
276		スギ	本山寺のスギ	本山寺	8.2 33
801		シイノキ [スガジイ]	本山寺の大ガシ		
717		カゴノキ	本山寺のカゴノキ		
741		ウスノキ	本山寺のウスノキ		
75		イチョウ	庵寺のイチョウ		



簡易年表・歴代役員

西暦	和暦	会長	副会長		事務局長	主な行事・出来事
1999	平11年	長畑 州三	地職 恵	—	中島 嘉彦	1999年5月22日 岡山県森林インストラクター会設立
2000	平12年	〃	〃	—	〃	
2001	平13年	〃	〃	—	〃	
2002	平14年	〃	〃	—	〃	
2003	平15年	小見山 節夫	可兒 義朗	—	森井 康幸	・旧大佐町にて森林インストラクター養成講座開催①
2004	平16年	〃	〃	—	〃	・旧大佐町にて森林インストラクター養成講座開催②
2005	平17年	〃	〃	—	鴨田 時典	・旧大佐町にて森林インストラクター養成講座開催③
2006	平18年	〃	〃	—	〃	
2007	平19年	〃	〃	—	〃	・森づくりボランティア指導者育成研修①
2008	平20年	〃	〃	—	〃	・森づくりボランティア指導者育成研修②
2009	平21年	可兒 義朗	黒瀬 勝雄	大橋 日出男	〃	・森づくりボランティア指導者育成研修③
2010	平22年	〃	〃	〃	〃	
2011	平23年	大橋 日出男	〃	宮畑 修治	〃	・第1回主催自然観察会「金ケ谷山登山道付近」 新庄村
2012	平24年	〃	〃	〃	〃	・第2回主催自然観察会「金ケ谷山登山道付近」 新庄村
2013	平25年	〃	〃	〃	〃	・第3回主催自然観察会「岡山県立森林公園」 鏡野町
2014	平26年	宮畑 修治	中島 嘉彦	田中 康敬	石原 隆志	・第4回主催自然観察会「王子が岳」 玉野市・倉敷市
2015	平27年	〃	〃	〃	〃	・第5回主催自然観察会「若杉天然林」 西粟倉村（おかやま森づくりサポートセンター補助事業） ・岡山の巨樹老樹名木調査事業開始／（公社）岡山県緑化推進協会事業受託
2016	平28年	〃	〃	〃	高橋 謙治	・第6回主催自然観察会「荒戸山」 新見市（おかやま森づくりサポートセンター補助事業） ・岡山の巨樹老樹名木調査事業2年目 ・（公社）岡山県緑化推進協会正会員登録
2017	平29年	〃	〃	〃	〃	・第7回主催自然観察会「熊山」 赤磐市・備前市（おかやま森づくりサポートセンター補助事業） ・岡山の巨樹老樹名木調査事業3年目～終了
2018	平30年	〃	〃	〃	〃	・第8回主催自然観察会「吉備高原南端の里山を歩く」 総社市 ・岡山の巨樹出版編集会議
2019	令和元年	〃	〃	〃	〃	2019年5月22日で20周年（21年目に） ・第9回主催自然観察会「臥牛山・備中松山城」 高梁市

岡山県の森林インストラクター資格試験合格者の推移

平3年度	平4年度	平5年度	平6年度	平7年度	平8年度	平9年度	平10年度	平11年度	平12年度
0	2	3	0	0	2	1	3	2	1
平13年度	平14年度	平15年度	平16年度	平17年度	平18年度	平19年度	平20年度	平21年度	平22年度
4	5	2	10	2	4	2	3	2	4
平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	平27年度	平28年度	平29年度	平30年度	令和1年度	累計
2	2	0	0	1	1	0	2	3	63

出所：（一社）全国森林レクリエーション協会（岡山県森林インストラクター会の会員数ではない） 2020（令和2）年3月18日 単位：人

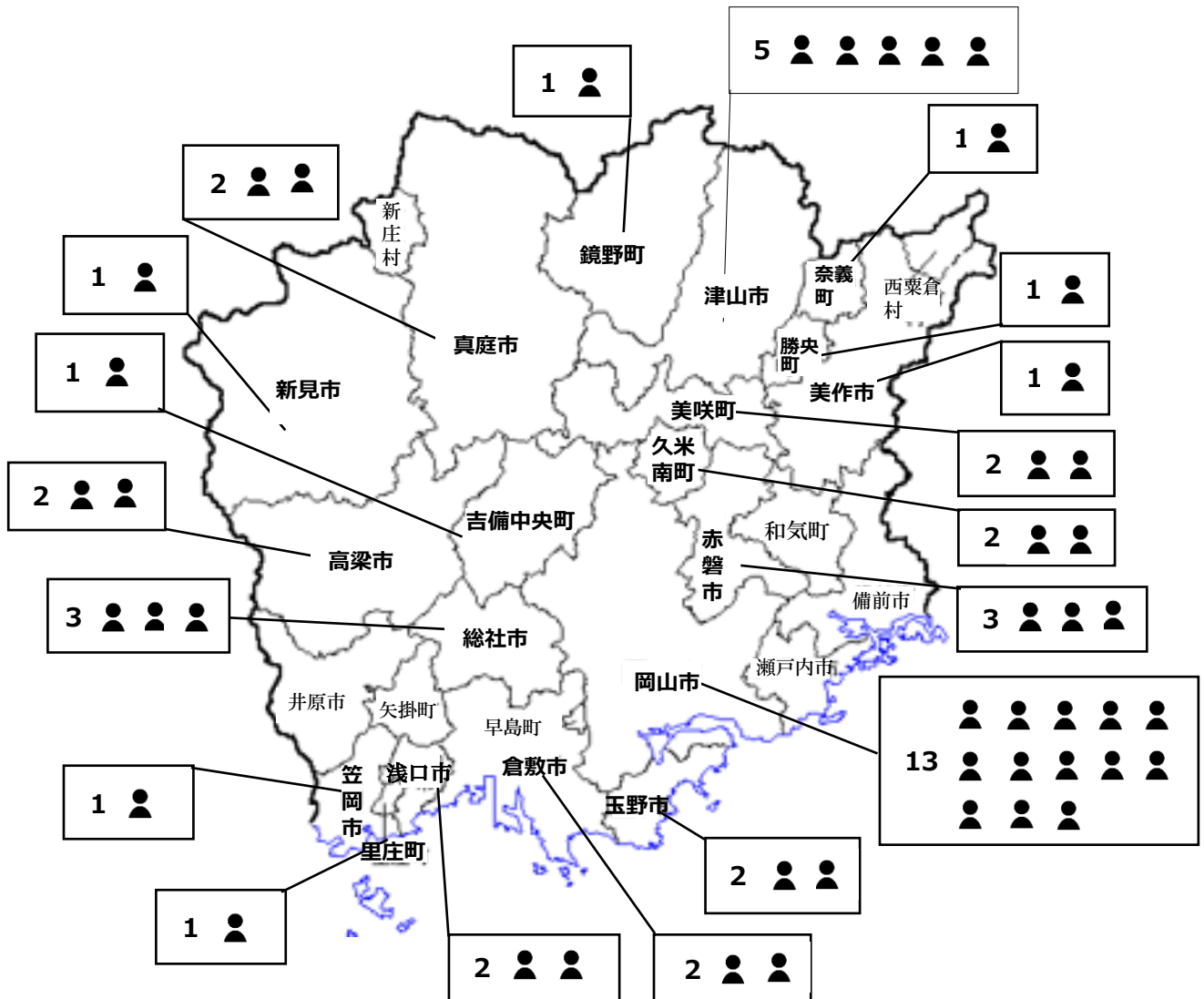
都道府県別森林インストラクター登録者数

北海道	113	福島県	43	東京都	524	山梨県	46	滋賀県	38	鳥取県	9	香川県	10	熊本県	25
青森県	21	茨城県	67	神奈川県	252	長野県	176	京都府	65	島根県	14	愛媛県	20	大分県	19
岩手県	52	栃木県	44	新潟県	63	岐阜県	74	大阪府	161	岡山県	48	高知県	23	宮崎県	14
宮城県	35	群馬県	59	富山県	25	静岡県	94	兵庫県	119	広島県	33	福岡県	65	鹿児島県	9
秋田県	31	埼玉県	148	石川県	26	愛知県	93	奈良県	68	山口県	18	佐賀県	15	沖縄県	7
山形県	36	千葉県	186	福井県	18	三重県	42	和歌山県	23	徳島県	10	長崎県	10	計	3,091

出所：（一社）全国森林レクリエーション協会 2020（令和2）年3月18日

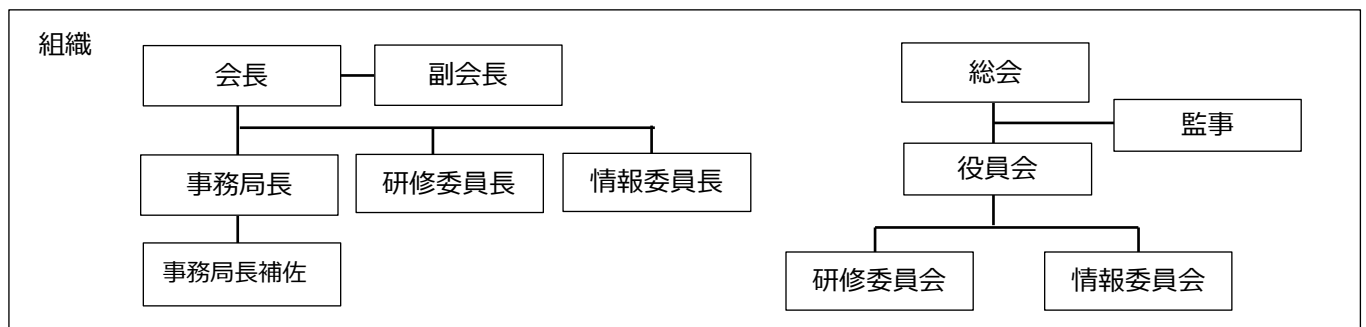
岡山県森林インストラクター会会員プロット

1	赤磐市	藤本 輝男	17		齋藤 秀哉	33	高梁市	二瀬 洋平
2		松田 友広	18		立石 智宣	34		小見山 節夫
3		諏訪 岳憲	19		山根 一郎	35	玉野市	宮畑 修治
4	浅口郡里庄町	西原 弘二	20	笠岡市	溝口 司	36		大内 雄一郎
5	浅口市	古城 富士夫	21	勝田郡奈義町	長畑 州三	37	津山市	安東 孝師
6		松下 道恵	22	勝田郡勝央町	斉藤 純一	38		小川 喜一郎
7	岡山市	芦田 和文	23	吉備中央町	山本 卓	39		中島 嘉彦
8		可兒 義朗	24	倉敷市	鴨田 時典	40		西川 昭
9		鈴木 理恵	25		中塚 栄一	41		横林 英記
10		長谷部 勝己	26	久米郡久米南町	高垣 泰一	42	苫田郡鏡野町	牧本 卓史
11		石川 正明	27		梶原 利廣	43	新見市	大橋 日出男
12		高橋 謙治	28	久米郡美咲町	黒瀬 勝雄	44	真庭市	向井 王則
13		奥村 祐子	29		石原 隆志	45		谷口 重太
14		田中 康敬	30	総社市	渡辺 亜矢子	46	美作市	野澤 正人
15		高尾 欽也	31		栢野 奈実恵		2020 (令和2)年4月1日現在 (順不同)	
16		石部 友弘	32		森井 康幸			



岡山県森林インストラクター会の概要

	項目	概要	
1	団体名称	岡山県森林インストラクター会	
2	設立年月日	1999（平成11）年5月22日	
3	会員数	46名：2020（令和2）年4月1日現在	
4	会員の要件	一般社団法人 全国森林レクリエーション協会が実施する森林インストラクター試験の合格者で岡山県森林インストラクター会に所属を希望する者で構成する。（本試験は文部科学大臣、環境大臣の推奨事業）	
5	設立の目的	森林レクリエーションの普及、自然環境の保全などを通じて、森の解説者として、広く県民に森林の成りたちや役割等を伝え、関心を高め、保全に寄与することを目的とする。	
6	役員／2019（令和元）年度	会 長：宮畑 修治 副 会 長：中島 嘉彦、田中 康敬 事務局 長：高橋 謙治	
7	事務局	〒703-8228 岡山市中区乙多見105-14 電話：090-6418-7780 mail：konaken77martin@green.megaegg.ne.jp 事務局 長：高橋 謙治	
8	会 実 施 の 実 績 事 業 ・ 行 事 等	①研修会（会員向）	1）会員のレベル向上のための内部研修会（年数回実施） 2）おかやま森づくりサポートセンター研修会参加 3）その他団体主催の研修会への参加
		②自然観察会（会主催）	当会主催の自然観察会（年1回実施） （おかやま森づくりサポートセンターの補助事業）
		③公共団体関係への講師派遣	1）岡山県みどりの少年隊交流集会 2）岡山県みどりの大会 3）岡山県環境教育ミーティング（ブース出展） 4）おかやま森づくりサポートセンター要請行事 5）学校の森・子どもサミット実行委員会
		④学校関係への講師派遣	1）（公財）岡山県環境保全事業団かんきょうひろば要請に基づき県内各地の小中学校で環境出前講座を実施 2）地域の子供会や公民館要請に基づき自然観察等の出前講師を派遣
		⑤NPO及び公的団体関係	1）NPOフォレストフォーピープル岡山への理事派遣及び各種行事の講師派遣 2）山陽新聞エコキャンプへの講師派遣・植樹指導 3）岡山県森林組合連合会主催の観察会に講師派遣
		⑥その他の団体等関係	1）里山整備事業の援助（指導者派遣） 2）岡山県勤労者山岳連盟・女性委員会主催の観察登山講師派遣 3）各種団体行事援助でのクラフト指導やネイチャーゲーム等指導
		⑦岡山の巨樹調査	1）（公社）岡山県緑化推進協会の委託により岡山の巨樹老樹名木の県下一斉フィールド調査を実施



発行日
2020（令和2）年6月

発行
岡山県森林インストラクター会

事務局
〒703-8228 岡山市中区乙多見105-14
TEL090-6418-7780
mail : konaken77martin@green.megaegg.ne.jp
事務局長：高橋 謙治

編集制作
岡山県森林インストラクター会 20周年記念誌制作実行委員
諏訪 岳憲
小川 喜一郎
渡邊 亜矢子
斉藤 純一



岡山県森林インストラクター会